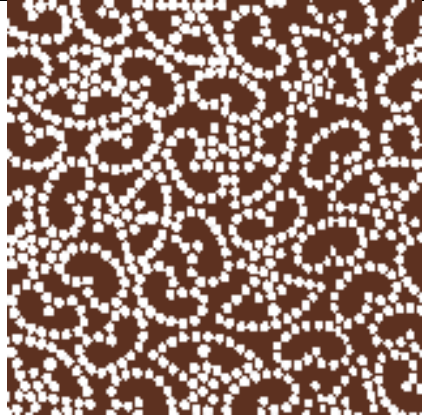
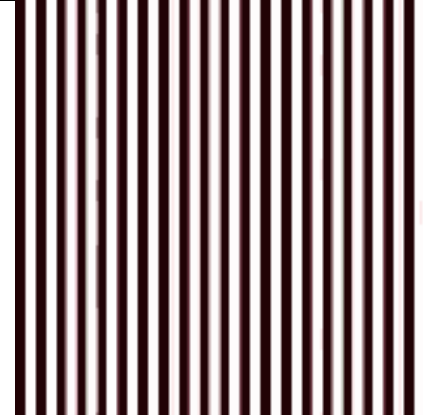



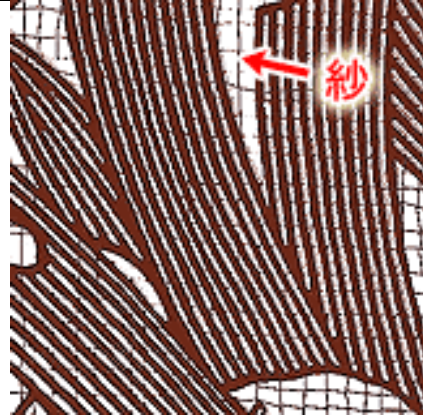


彫り方のいろいろ

突彫り（つきぼり）と引彫り（ひきぼり）は、文様（もんよう）の自由度が高いため、様々な画題が彫られるため、よく似ています。

刀で押して切るか、ひいて切るか（刃の切れる方が前向きか、後ろ向きか）の違いなので、型紙を見て区別が付きにくいといえます。

突彫りには大きい隙間や、細長い隙間ができるが、染めるとき型が崩れるので薄いネットを使う紗張り（しゃぼり）をして型紙の模様を固定します。紗張りは糸入れとは言いません。

					
錐彫り (きりぼり)	縞彫り (しまぼり)	道具彫り (どうぐぼり)	突彫り (つきぼり)	引彫り (ひきぼり)	(紗張り) (しゃぼり)